

.....

うきたむ考古通信

.....

2015年6月号

■発行者	うきたむ考古の会
事務局	山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館 内
	〒992-0302 山形県東置賜郡高畠町安久津2117
	電話0238-52-2585 Fax 0238-52-4665

♥「赤ちゃん手形をつくろう」最大個数の製作で終了

●ゴールデンウィークの5月1日から5日まで「赤ちゃんの手形をつくろう」を開催しました。1日79個、2日137個、3日197個、4日189個、5日216個で合計818個とこれまでの記録を更新しました。3日には手形製作会場に吉村知事がお見えになり、参加者と記念撮影をされたり、自らも手形をとったり、交流を深めていました。

今年も手形とりの様子や手形の写真を毎日ホームページに掲載するとともに、会場にも前日までの写真をプリントして貼り付けました。参加者の方で画像データをご希望の方にはメールで送信するサービスを行っています。

●お手伝い頂きました会員の皆様に、この場をお借りして感謝申し上げます。

♥春の遺跡めぐり

●5月31日（日）に新潟県北部の史跡や資料館を巡る恒例の「春の遺跡めぐり」が行われました。今回は町のマイクロバスでの旅行となりました。

7時に資料館を出発し、途中雨にも降られましたが、最初の見学地の古津八幡山遺跡に到着した頃には、すっかり晴れ上がりました。新潟県埋蔵文化財センターの展示を見学後、弥生の丘展示館の方の案内で古津八幡山遺跡公園をゆっくりと見学しました。環濠と土塁や復元竪穴、方形周溝墓、山頂の古津八幡山古墳と巡りました。きれいに整備された公園の維持管理は3人の方によって行われていると聞き、びっくり。最後に展示館で出土品を見学しました。

新潟市を後にし、高速道路で奥三面歴史交流館へ。交流館では、用意していただいたお弁当での昼食後、最近重要文化財に指定された数々の優品を含めた出土品や民俗資料を見学しました。重要民具にも指定されている民具と考古資料を合わせて展示するという手法は奥三面だからできることではないかと、感心して見学しました。現地調査やその後の整理作業の折りに、何回か出土品を見ていましたが、一堂に会されたものを見る

と、改めてその遺跡群の価値に驚かされました。

最後は交流館まで迎えに来ていただいた村上市教育委員会の吉井さんの案内で最北の高地性環濠集落の山元遺跡を見学しました。未整備ですが、環濠のある集落と墓域、新潟北部を見渡せる所からの眺望など、見事な遺跡でした。今回は訪れた箇所は少なかつたものの、山形にはない種類の遺跡で一同大いに感激した遺跡めぐりでした。補助席まで利用しての定員一杯でしたので、少し窮屈でしたが、満足した一日となりました。新潟北部にはまだまだ見るところがありますので、近いうちに再度訪れたいと思います。

考古の会事業報告

♥ 総会

● 6月6日（日）に考古の会の定例総会がありました。出席者は13名と少なかつたのですが、佐藤前館長が座長となって審議が進められました。協議では事務局から平成26年度の事業、決算の説明があり、金子監事から監査報告があり、質疑を経て承認されました。引き続き27年度の事業・予算の審議にうつり、こちらも原案どおり承認されました。新しく就任された方も含め、役員の方は特にどうぞ宜しくお願い致します。皆さんの情熱と協力で、今年も充実した年にしましょう。

● 例年は総会時に講演というスタイルですが、今年は特別テーマ展の開催の日ということで、展覧会の共催である公益財団法人山形県埋蔵文化財センターの伊藤整理課長から展示解説をしていただくこととしました。下記に示すようにテーマは「災害と祈り」ですが、火山噴火、洪水、地震、火災と4つのコーナーについて展示の主旨と研究成果を話していただきました。

展覧会の案内

👁 特別テーマ展

災害と祈り

当館で毎年開催している公益財団法人山形県埋蔵文化財センターとの共催による「特別テーマ展」が今年も開催されています。開催期間は平成27年6月6日（土）～8月5日（水）です。

今年のテーマ展では西暦915年の十和田カルデラの噴火から1100年目にあたる年にちなみ、遺跡から見える災害の痕跡と、祈りの世界を紹介しています。東日本大震災から4年が経過し、被災地の復興が進められています。大震災を契機として遺跡に残された津波痕跡をはじめとする災害の歴史の調査・研究も進みつつあります。

「火山噴火」では鮭川村下大曾根遺跡、山形市藤治屋敷遺跡、鶴岡市行司免遺跡、「洪水」では南陽市庚壇遺跡、山形市川前2遺跡、同梅野木前1遺跡、「地震」では遊佐町浮橋遺跡、同下長橋遺跡、寒河江市三条遺跡、火災では米沢市米沢城跡、同鎌倉上遺跡、天童市高掬南遺跡の出土品を展示しています。そのほか、当館が寄贈を受けた津波で被災した酒田市飛島の西海岸遺跡から採集された平安時代の土器も展示しています。

遺跡に刻まれた様々な災害の痕跡、そして、その困難に向き合った人々の祈りを感じとっていただければと思います。今年は展示期間が例年より短くなっていますので、どうぞ、お早めにご来館下さい。

みる・きく・ふれる遺跡の旅20

「津軽をめぐる旅」

6月27日(土)・28日(日) (一泊二日)

青森県津軽地方の遺跡や史跡をめぐるります。

コース (予定)

〈1日目〉 考古資料館 5:30→山形駅 6:20→山形県庁 6:35→三内丸山遺跡(昼食)
11:45~13:15→大平山元遺跡 14:20~14:30→福島城跡 15:10~15:15
→市浦歴史民俗資料館 15:25~15:55
→十三湊遺跡 16:00~16:30→亀ヶ岡遺跡・田小屋野貝塚 17:20~17:30
→柏ロマン荘泊 18:30

〈2日目〉 宿舎 8:00→浪岡城跡 9:30~10:00→中世の館 10:05~10:30
→田舎館村埋蔵文化財センター弥生館垂柳遺跡 11:00~11:30
→弘前城跡・昼食 12:00~13:30
→山形県庁前 18:30→山形駅 18:40→考古資料館 19:35
(時間は目安です。)

三内丸山遺跡から弘前城跡まで全コースで青森県埋蔵文化財調査センターの
川口 潤先生の解説をいただきます。

主 催：山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館

共 催：うきたむ考古の会

参加費：26,000円程度(交通費・宿泊費・見学料等)(考古の会会員 助成有)

募 集：20名(最少催行15名)申し込み先着順

交 通：貸し切りバス(八千代トラベル)

申込み：6月13日(土)まで 考古資料館へ

連絡先：(電話)0238-52-2585 (FAX)0238-52-4665

(e-mail)info@ukitamu.pupu.jp

〒992-0302 東置賜郡高畠町大字安久津2117

備 考：散策しやすい服装でお越しくください。薬を処方されている方は各自ご準備く
ださい。その他、お問い合わせは考古資料館まで。

※参加申し込みは6月13日までとなっていましたが、まだ、バスの定員に若干
の余裕がありますので、参加ご希望の方は館までお問い合わせください

東北情報館

プライム企画展 『「縄文の女神」と「遮光器土偶」』

—縄文の美と宝—

入館料 一般／300円 大学生／150円 高校生以下無料
5月30日～9月6日 山形県立博物館 TEL: 023-645-1111

6月展 『浮世絵にみる水辺の風景』

入館料 一般／600円 高校・大学生・中学生／500円 小学生／300円
5月29日(金)～6月29日(金) 広重美術館 EL: 023-645-6555

企画展 『スサノヲの到来—いのち、いかり、いのり—』

入館料 一般／400円 高校生以下無料
6月4日～7月21日 山寺芭蕉記念館 TEL: 023-695-2221

徳川家康没後400年記念特別展 『徳川将軍家と東北』

—太平の世の歴史と名宝—

入館料 お問い合わせください
7月11日～8月23日 東北歴史博物館 TEL: 022-368-0101

企画展 『被災地からの考古学1』

—福島県浜通り地方の原始・古代—

入館料 一般・大学生／270円 小・中・高生／無料
7月18日～9月13日 福島県立博物館 TEL: 0242-28-6000